

令和 6 年度

主要な施策に関する説明書

(一 般 会 計)

(国民健康保険特別会計)

(介護保険特別会計)

(後期高齢者医療特別会計)

埼玉県南埼玉郡宮代町

令和6年度 宮代町一般会計決算における主要施策の成果

令和6年度は、同年元日に発生した能登半島地震に続いて各地で豪雨による浸水被害が相次いだほか、主食の米をはじめとした物価高など、住民の皆様の日々の生活を脅かす様々な問題に適切に対応し、安心して暮らしていただけることを第一に、行政運営に取り組んでまいりました。

決算に目を向けると、歳入では、町税において、固定資産税や都市計画税が新築家屋の増加などにより増額したものの、定額減税により個人住民税が減額、町税全体でも前年度に比べ減額となりました。なお、一般財源全体においては、地方交付税や各種交付金などの増額により、前年度以上の額を確保することができました。

歳出では、障がい福祉、介護、子育てなどの社会保障費が増加したほか、長引く物価高騰への対策、指定避難所への空調機器整備、東武動物公園駅東口整備などの都市計画事業、職員の給与改定などに伴い、歳出全体においても増額となりました。

このような中、役場庁舎への太陽光発電設備の設置、地球温暖化対策実行計画の策定などゼロカーボンシティ実現に向けた取り組みや、コンビニ戸籍証明書システムの導入、妊婦歯科健診の実施、带状疱疹ワクチンへの補助、18歳までのこども医療費拡大など、時代に即したニーズへの対応も進めました。

第5次宮代町総合計画においては、令和8年度からの後期実行計画に効果的につながるよう全事業を進め、「構想1 宮代らしさを価値として高めていく」では、宮東・中島地区において地元組合や埼玉県と協力し、農地の担い手の集約化にむけた調整や圃場整備などソフト・ハードの両面から取り組みました。また、「みやしろ芸術祭」を通じアート楽しさや喜び、感

動を町民の皆様に共有していただくとともに、「みやしろズームアッププロジェクト」として市民特派員による動画発信、東武動物公園のホワイトタイガー赤ちゃんへの特別住民票交付、町制施行70周年記念ロゴマーク募集など、「宮代町」を町内外に広く知っていただくための情報発信を行いました。

「構想2 コンパクトな町の強みを活かす」では、地域の皆様や日本工業大学の学生などと検討を重ねてきた宮代台と学園台のオリジナルパークが完成したほか、町の主要幹線道路である都市計画道路春日部久喜線や東武動物公園駅東口駅前広場の整備を着実に進めました。

「構想3 さまざまな活動や主体を生み出す」では、子育て中の方や子どもたちの地域での居場所づくり支援、高齢者の日常生活の困りごとサポート、若い世代の健康づくりとして食を通じた意識啓発などを行いました。

「構想4 社会環境の変化に対応し行政運営を変化させ続ける」では、町内の小中学校の児童生徒を対象に日本工業大学の施設や設備を活用した講義や授業を実施したほか、須賀小学校の再整備においては、地域や関係者の皆様の声を聞きながら学校、学童、地域コミュニティ支援の各機能の配置の検討を進めました。

今後も、町の未来像である「首都圏で人がいちばん輝く町」の実現を目指し、各種施策を進めてまいります。町民の皆様におかれましては、これまで同様に町政運営へのご理解、ご協力を賜りますようお願いいたします。

令和7年度の町制施行70周年を記念したロゴマークです。宮代町を愛する方はだれでも使用できます。ロゴマークを使って、一緒に70周年を盛りあげよう



令和6年度 一般会計歳入歳出決算状況

歳入の状況

款 名	6年度			増減 A-B
	決算額 A	構成比(%)	人口1人当たり	
1 町 税	4,116,793	29.2	124	△ 22,886
2 地 方 譲 与 税	93,198	0.7	3	645
3 利 子 割 交 付 金	2,033	0.0	0	522
4 配 当 割 交 付 金	38,669	0.3	1	11,042
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	55,494	0.4	2	23,371
6 法 人 事 業 税 交 付 金	39,140	0.3	1	4,408
7 地 方 消 費 税 交 付 金	747,883	5.3	22	33,721
8 環 境 性 能 割 交 付 金	20,086	0.1	1	3,341
9 地 方 特 例 交 付 金	192,204	1.4	6	151,937
10 地 方 交 付 税	2,836,783	20.2	85	60,622
11 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	3,241	0.0	0	△ 184
12 分 担 金 及 び 負 担 金	93,644	0.7	3	4,461
13 使 用 料 及 び 手 数 料	39,496	0.3	1	4,411
14 国 庫 支 出 金	1,938,898	13.8	58	△ 648,470
15 県 支 出 金	907,072	6.4	27	67,381
16 財 産 収 入	21,029	0.1	1	△ 11,055
17 寄 附 金	24,405	0.2	1	6,126
18 繰 入 金	781,493	5.5	23	180,201
19 繰 越 金	1,212,599	8.6	36	353,148
20 諸 収 入	276,983	2.0	8	31,703
21 町 債	632,130	4.5	19	189,226
22 自 動 車 取 得 税 交 付 金	0	0.0	0	△ 947
歳 入 合 計	14,073,273	100.0	422	442,724

令和7年3月31日現在人口
33,343人

(単位 千円)

5年度		4年度 決算額	主 な 増 減 理 由
決算額 B	構成比 (%)		
4,139,679	30.4	3,879,616	定額減税による個人町民税の減
92,553	0.7	91,768	譲与割合及び交付原資（国税）の増
1,511	0.0	1,677	交付原資（県税）の増
27,627	0.2	24,276	交付原資（県税）の増
32,123	0.2	18,938	交付原資（県税）の増
34,732	0.3	30,896	交付原資（県税）の増
714,162	5.2	725,563	交付原資（県税）の増
16,745	0.1	15,510	交付原資（県税）の増
40,267	0.3	44,234	定額減税による減収を補填する交付金の増
2,776,161	20.4	2,708,706	普通交付税の増
3,425	0.0	3,770	交付原資の減
89,183	0.7	156,629	学童保育所利用者増による保護者負担金の増
35,085	0.3	35,795	し尿処理手数料の増（業務移管）
2,587,368	19.0	2,336,395	新型コロナウイルスワクチン特例臨時接種の終了 新型コロナウイルス地方創生臨時交付金の減
839,691	6.2	802,452	障害者自立支援給付費等負担金の増
32,084	0.2	86,413	普通財産売払収入の減
18,279	0.1	22,531	ふるさと納税（寄附金）の増
601,292	4.4	531,725	公共施設整備基金繰入金の増 （久喜市新ごみ処理施設整備負担金の財源）
859,451	6.3	1,203,688	前年度決算剰余金の増
245,280	1.8	264,994	新型コロナ定期接種ワクチン確保事業助成金の増
442,904	3.2	353,161	避難所設備整備事業債の増 東武動物公園駅東口整備事業債の増
947	0.0	235	過年度分追加交付金の減
13,630,549	100.0	13,338,972	

歳出の状況

款 名	6年度			増減 A-B
	決算額 A	構成比 (%)	人口1人当たり	
1 議 会 費	106,819	0.8	3	2,568
2 総 務 費	2,097,143	15.9	63	202,180
3 民 生 費	5,235,121	39.8	157	337,687
4 衛 生 費	1,567,136	11.9	47	38,171
5 労 働 費	52	0.0	0	0
6 農 林 水 産 業 費	294,416	2.2	9	43,600
7 商 工 費	51,899	0.4	2	△ 34,674
8 土 木 費	1,125,135	8.6	34	209,109
9 消 防 費	555,508	4.2	17	16,440
10 教 育 費	1,312,950	10.0	39	△ 46,142
11 公 債 費	817,241	6.2	24	△ 23,404
12 諸 支 出 金	193	0.0	0	128
13 予 備 費	0	0.0	0	0
歳 出 合 計	13,163,613	100.0	395	745,663

令和7年3月31日現在人口
33,343人

(単位 千円)

5年度		4年度 決算額	主 な 増 減 理 由
決算額 B	構成比 (%)		
104,251	0.8	105,830	在職議員数の増
1,894,963	15.3	2,180,950	指定避難所への空調設備の整備 庁舎への太陽光発電設備の設置
4,897,434	39.4	4,932,144	物価高騰対策に伴う給付金の給付 障がい福祉や子育て支援など社会保障費の増
1,528,965	12.3	1,464,184	久喜市新ごみ処理施設整備負担金の増 新型コロナウイルスワクチン特例臨時接種の終了
52	0.0	52	
250,816	2.0	235,921	宮東・中島地区圃場整備に対する負担金の増 桃山台堰ゲート更新工事の実施
86,573	0.7	126,342	キャッシュレス決済推進事業の終了
916,026	7.4	890,378	東武動物公園駅東口周辺整備の事業進捗による増 都市計画道路（R12、252）整備の事業進捗による増
539,068	4.3	478,525	埼玉東部消防組合負担金の増
1,359,092	11.0	1,224,677	校務支援システム更新の完了 須賀小学校再整備に向けた設計業務等の実施
840,645	6.8	840,440	過年度借入地方債償還の進行に伴う減
65	0.0	78	
0	0.0	0	
12,417,950	100.0	12,479,521	

令和6年度 一般会計歳出性質別決算状況

性 質 名	6年度		増減 A-B
	決算額 A	構成比 (%)	
1 人 件 費	2,078,118	15.8	105,849
うち 職員 給	1,289,636	9.8	69,613
2 物 件 費	1,934,082	14.7	9,165
3 維持 補 修 費	78,449	0.6	32,497
4 扶 助 費	3,038,940	23.1	327,166
5 補 助 費 等	2,169,796	16.5	5,202
一部事務組合に対するもの	987,192	7.5	△ 122,238
そ の 他	1,182,604	9.0	127,440
6 普 通 建 設 事 業 費	1,139,514	8.7	280,880
補 助 事 業 費	577,240	4.4	306,827
単 独 事 業 費	489,720	3.7	△ 51,401
県 営 事 業 負 担 金	72,554	0.6	25,454
同 級 他 団 体 施 行 事 業 費	0	0.0	0
受 託 事 業 費	0	0.0	0
7 公 債 費	817,241	6.2	△ 23,404
8 積 立 金	538,842	4.1	26,831
9 投 資 及 び 出 資 金	0	0.0	0
10 貸 付 金	0	0.0	0
11 繰 出 金	1,368,631	10.4	△ 18,523
合 計	13,163,613	100.0	745,663

※5年度決算額は、国県による検収により一部数値を変更しています。

(単位 千円)

5年度		4年度 決算額	主 な 増 減 理 由
決算額 B	構成比 (%)		
1, 972, 269	15. 9	1, 916, 998	給与改定及び職員数の増
1, 220, 023	9. 8	1, 186, 963	給与改定及び職員数の増
1, 924, 917	15. 5	1, 960, 724	久喜宮代衛生組合から塵芥収集業務を移管
45, 952	0. 4	62, 565	庁舎防火設備修繕の実施 小中学校及び給食センター施設修繕の増
2, 711, 774	21. 8	2, 381, 313	物価高騰対策に伴う給付金の給付による増 介護給付・訓練等給付費の増
2, 164, 594	17. 4	2, 246, 716	
1, 109, 430	8. 9	1, 020, 170	業務移管に伴う久喜宮代衛生組合負担金の減
1, 055, 164	8. 5	1, 226, 546	物価高騰対策に伴う給付金の給付による増
858, 634	6. 9	948, 177	
270, 413	2. 2	370, 508	東武動物公園駅東口周辺整備の事業進捗による増
541, 121	4. 3	572, 962	福祉医療センター空調設備整備完了による減
47, 100	0. 4	4, 707	宮東・中島地区圃場整備に対する負担金の増 東武動物公園駅東口通り線整備に対する負担金の増
0	0. 0	0	
0	0. 0	0	
840, 645	6. 8	840, 440	過年度借入地方債償還の進行に伴う減
512, 011	4. 1	833, 442	基金積立金の増
0	0. 0	0	
0	0. 0	0	
1, 387, 154	11. 2	1, 289, 146	国民健康保険特別会計への繰出金の減
12, 417, 950	100. 0	12, 479, 521	

地 方 債 現 在

区 分	令和５年度末 現在高 A	令和６年度 発行額 B
1 普 通 債	2,713,438	603,210
(1) 総 務 債	443,838	164,700
(2) 民 生 債	515,672	
(3) 衛 生 債	414,177	24,400
(4) 農 林 水 産 業 債	32,800	60,700
(5) 土 木 債	854,550	243,410
(6) 消 防 債	79,895	
(7) 教 育 債	372,506	110,000
2 そ の 他	4,763,006	28,920
(1) 減 税 補 て ん 債	14,619	
(2) 減 収 補 て ん 債	26,308	
(3) 臨 時 財 政 対 策 債	4,722,079	28,920
合 計	7,476,444	632,130

地 方 債 の 借 入 先 別 ・

借 入 先 \ 利 率 別	令和５年度末 現在高 A	令和６年度 発行額 B	令和６年度 元金償還額 C	令和６年度末 現在高 D(A+B-C)
1 財 務 省	3,473,243	68,520	340,548	3,201,215
2 郵便貯金・簡易生命 保険管理機構	166,106		23,353	142,753
3 地方公共団体金融機構	2,898,797	417,200	257,932	3,058,065
4 市 中 銀 行 等	690,298	146,410	140,352	696,356
5 共 済 組 合 等	10,013		3,448	6,565
6 埼 玉 県	237,987		19,720	218,267
合 計	7,476,444	632,130	785,353	7,323,221

高 の 状 況

(単位 千円)

令和6年度 元金償還額 C	令和6年度末現在高 D (A+B-C)	Dの借入先別内訳	
		政府資金	その他
293,103	3,023,545	1,054,285	1,969,260
38,981	569,557		569,557
50,110	465,562	206,279	259,283
45,493	393,084	67,390	325,694
810	92,690	12,300	80,390
109,610	988,350	551,008	437,342
4,936	74,959		74,959
43,163	439,343	217,308	222,035
492,250	4,299,676	2,289,684	2,009,992
8,267	6,352	6,352	
3,665	22,643	18,427	4,216
480,318	4,270,681	2,264,905	2,005,776
785,353	7,323,221	3,343,969	3,979,252

利 率 別 現 在 高 の 状 況

(単位 千円)

令和6年度末現在高 D の利率別内訳								
1.5% 以下	2.0% 以下	2.5% 以下	3.0% 以下	3.5% 以下	4.0% 以下	4.5% 以下	5.0% 以下	5.0% 超
3,057,021	28,625	113,191	1,555	823				
27,104		115,649						
2,721,611	335,030	1,424						
645,788	50,568							
6,565								
218,267								
6,676,356	414,223	230,264	1,555	823				

令和6年度 決算状況総括表

1 決算収支の状況

(単位 千円)

	6年度	5年度	4年度
歳 入 総 額 A	14,073,273	13,630,549	13,338,972
歳 出 総 額 B	13,163,613	12,417,950	12,479,521
歳入歳出差引額 (A - B) C	909,660	1,212,599	859,451
翌年度へ繰越すべき財源 D	159,283	337,377	100,927
実質収支 (C - D) E	750,377	875,222	758,524
単年度収支 F	△ 124,845	116,698	△ 261,966
財政調整基金積立金額 G	438,854	379,719	510,747
繰上償還額 H	0	0	0
積立金取崩額 I	507,779	523,157	398,104
実質単年度収支 (F + G + H - I)	△ 193,770	△ 26,740	△ 149,323

2 基金の現在高

(単位 千円)

	6年度	5年度	4年度
財 政 調 整 基 金	1,200,315	1,269,240	1,412,678
(主な増減理由) 不足する財源を補填するための取り崩し			
減 債 基 金	69,066	39,858	3,521
(主な増減理由) 次年度以降の地方債償還費の財源不足に備えた積み立て			
公 共 施 設 整 備 基 金	875,532	990,701	916,378
(主な増減理由) 久喜市新ごみ処理施設整備負担金の財源としての取り崩し			
公設宮代福祉医療センター施設整備基金	73	73	2,472
増減なし			
宮 代 ま ち づ く り 基 金	35,219	25,920	25,648
(主な増減理由) ふるさと納税の積み立て			
森 林 環 境 譲 与 税 積 立 基 金	20,708	16,307	12,299
(主な増減理由) 森林環境譲与税の積み立て			
土 地 開 発 基 金	329,320	329,126	329,061
(主な増減理由) 基金利子の積み立て			
育 英 基 金	11,638	13,691	15,141
(主な増減理由) 小中学校教育備品等の整備のための取り崩し			
合 計	2,541,871	2,684,916	2,717,198

3 財政指標

	6年度	5年度	4年度
実 質 公 債 費 比 率	5.5%	5.8%	6.1%
将 来 負 担 比 率	指標なし	指標なし	指標なし
財 政 力 指 数	0.589	0.583	0.596
経 常 収 支 比 率	92.6%	93.0%	92.4%
実 質 収 支 比 率	9.8%	11.8%	10.4%
標 準 財 政 規 模	7,671,519千円	7,439,979千円	7,313,403千円

※将来負担比率「指標なし」は、充当可能財源が将来負担額を超えている状態です。

※財政力指数、実質公債費比率の数値は、過去3カ年の平均値です。

(財政力指数の各年度数値は15ページを参照ください)

4 人口

(単位 人)

	6年度	5年度	4年度
住 民 基 本 台 帳	33,343	33,340	33,346

5 国勢調査

(単位 人)

	2年国勢調査	27年国勢調査	22年国勢調査
人 口	34,147	33,705	33,641
第 1 次 就 業 人 口	298	315	353
第 2 次 就 業 人 口	3,331	3,551	3,499
第 3 次 就 業 人 口	11,545	10,861	11,221
(分 類 不 能)	595	854	606

6 職員数等の状況

	6年度	5年度	4年度
(一般職員) 職員数	203人	197人	195人
(一般職員) 平均年齢	44.00歳	43.06歳	43.02歳
(一般職員) 一人当たりの給料月額	317,904円	311,582円	310,340円
ラスパイレス指数	95.0	94.8	95.3

※ラスパイレス指数とは、国家公務員の給与額を100とした場合の地方公共団体（市町村など）の給与水準を指数で示したもので、ここでは、4月1日現在の指数を記載しています。

西原自然の森活用事業（移築民家活用編）

【資料館管理運営事業 決算書 P188】

教育推進課

文化財保護担当

TEL 34-8882

6 年度予算 (円)	6 年度決算 (円)	6 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
80,000	50,000	0	0	0	0	50,000

◎ 令和 6 年度の事業実績（成果）

西原自然の森の魅力を高めるため、町指定文化財である「旧加藤家」「旧齋藤家」を活用したイベントとして、旧加藤家住宅を舞台に、ひとりがたり「村の寶」を、また、他課との共催で「西原自然の森フェスタ2024&すてっぷまつり」を開催しました。

イベントを通じ、指定文化財である移築民家などの活用の際の課題の整理を行い、マニュアルの見直しを行いました。

<実施内容>

■ひとりがたり「村の寶」 参加者 21人

▼島村盛助生誕140年を記念し、身体一つで作品を語んじて表現する「ひとりがたり」という手法で、島村菱三（盛助）唯一の童話である『村の寶』を上演しました。語り手には北原久仁香さんを招へいしました。作品が豊かな表現で語られる様子に、思わず引き込まれながらの鑑賞となりました。

■西原自然の森フェスタ 2024&すてっぷまつり 実施日：11月16日（土）

▼「加藤家音楽会」を開催しました。当日はハーモニカクラブ、三味線ユニット天龍姫の2団体による演奏が行われました。旧加藤家前には鑑賞席を設けたことにより、古民家の雰囲気味わいながらの音楽鑑賞となりました。昨年に引き続き、活用策を広げる試みを行うことができました。

また、本館との間のスペースでは「かやぶきバザール」が実施されたことから、多くの来場者に楽しんでいただくことができました。

参加者 約100人

▼旧齋藤家住宅では、土間を利用して「縄文マグネットづくり」を開催しました。マグネット付きの粘土に、縄文人と同じ手法として縄や貝殻を使って好きな文様を付けました。

参加者 32人

▼大型の文化財保管庫として活用してきた町指定文化財旧進修館の内部について、特別公開を行いました。午前・午後2回にわたり、それぞれ1時間の公開時間でした。大型民具が置かれた間に設けられた見学ルートを通りながら、時にはそれらの民具について学芸員からの説明を受けながら、普段は見ることのできない昔の学校の教室の様子や、大きな民具、額などを見学していただきました。

参加者 延べ20人



西原自然の森フェスタ 2024→
加藤家音楽会 (旧加藤家住宅)

←ひとりがたり「村の寶」



東武動物公園駅西口わくわくロード事業

【東武動物公園駅西口周辺整備事業 決算書 P152】

まちづくり建設課
道路担当
内線 331

6 年度予算 (円)	6 年度決算 (円)	6 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
7,537,000	4,105,685	0	0	0	100,000	4,005,685

※令和5年度からの繰越分を含みます。

◎ 令和6年度の事業実績（成果）

歩きたくなるまちなかを目指す将来像の共有に向け、まちづくりアイデアや歩いて楽しいわくわくするみちの絵の募集を行いました。東武動物公園駅西口駅前広場からスキップ広場までの街路樹にイルミネーションを設置し賑わいを創出しました。また、デザインマンホール蓋の作成や市民活動の備品倉庫の設置を行いました。

<実施内容>

■東武動物公園駅西口周辺のまちづくり

アイデア募集支援業務及びデザインマンホール蓋の作成業務

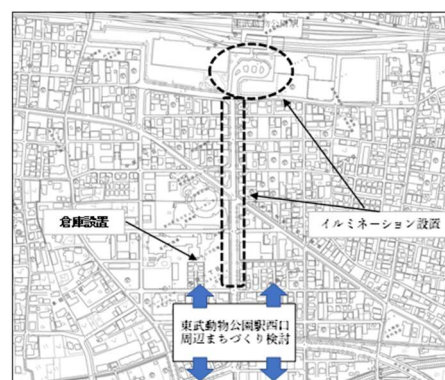
委託費 785,312 円

イルミネーション設置及び市民活動備品倉庫の設置

工事費 3,130,600 円

消耗品や電気代など

その他 189,773 円



まちなかどこでもミュージアム事業

【社会教育活動事業 決算書 P182】

教育推進課
生涯学習・スポーツ振興担当
内線 433

6 年度予算 (円)	6 年度決算 (円)	6 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
1,438,000	603,944	0	0	0	0	603,944

◎ 令和6年度の事業実績（成果）

町公式ホームページや SNS を利用して、町内外のアート関連情報を発信しました。また、広場等で開催される作品展や演奏会において、展示ボードや舞台演出のための機材を貸し出し、アート活動の場づくりをサポートしました。また、町の文化芸術の祭典である「みやしろ芸術祭」では、昨年度使用できなかった進修館大ホールでの発表会を復活させ、コロナ禍以前の演目を実施することができました。

<実施内容>

- ・町内の公共施設や飲食店をはじめ、町外のギャラリー等で開催される町に所縁のあるアーティストによる作品展などの開催情報を発信しました（40件）。
- ・文化芸術活動を場づくりの面から支援するため、スキップ広場や進修館等で開催される演奏会や作品展にイスやテーブルといった集客や雰囲気演出のための物品を貸し出しました。（6件）。
- ・町の文化芸術の祭典となる「みやしろ芸術祭」を開催しました。11月を開催期間とし、町が主催するもののほか、新たな試みとして、各種団体が主催する作品展や制作教室を含むパートナー認証事業やストリートピアノなども行い、延べ約4,800人が参加しました。

地域のみんでこどもたちの居場所づくり事業②

【教育支援センター運営事業 決算書 P164】

学校教育担当

教育総務担当

内線 423

6年度予算 (円)	6年度決算 (円)	6年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
4,129,000	3,266,315	0	0	0	200,000	3,066,315

◎ 令和6年度の事業実績(成果)

様々な事情で学校に通えていない又は通にくい町内の児童生徒の居場所の一つとして、実態やニーズ等に合った施設にするために、児童生徒や保護者等の状況に応じて、学校や関係他課、諸機関との情報共有や面談を行うなどの支援を適宜行いました。

<実施内容>

■適応指導教室 開室時間 9時～15時(平日のみ)

・令和6年度利用状況 プレ通級10名、本通級18名

■教育相談 実施時間 9時～16時30分

・令和6年度相談件数 715件(令和5年度 642件)

■教育相談の充実 教育相談機能の充実と適応指導教室運営体制の強化のため、令和5年度から専門相談支援員を1名配置し、より教育相談の充実を図ることができました。

■会議室等の貸出 学校に行きにくい、学校生活になじめない等何らかの支援が必要な子供たちの支援を行う市民活動団体に対し、施設休所日に2階会議室等の貸出を行っています。

進修館オープンカレッジ

【進修館管理事業 決算書 P76】

地域支援課

地域振興担当

内線 241

6年度予算 (円)	6年度決算 (円)	6年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
0	0	0	0	0	0	0

◎ 令和6年度の事業実績(成果)

前年度に引き続き「スキップ広場に賑わいを!」、「進修館をアートで彩る」、「進修館2階ロビーの空間作り」を実施しました。

<実施内容>

■前年度実施の「進修館をアートで彩る」をテーマに4回開催しました。

5月10日、9月14日 参加者延べ55名

窓を開け 風をよびこむ 11月10日 参加者50名

ひかるふしぎないきものを探そう@進修館 1月25日 参加者21名

■スキップ広場の多様な可能性を話し合う「スキップ広場に賑わいを!」をテーマに開催

6月14日 参加者 8名

■「進修館2階ロビーの空間作り」をテーマに4回開催

9月21日、10月12日 参加者延べ17名

へそ本トークセッション 12月8日、1月11日 参加者延べ32名

人権・平和推進事業

【人権・平和推進事業、男女共同参画社会推進事業、教職員研修奨励事業、
小学校管理運営事業、人権教育推進事業 決算書 P54、64、168、182】

人権推進室 内線 210
学校教育担当 内線 423
生涯学習室 内線 431

6 年度予算 (円)	6 年度決算 (円)	6 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
5,068,000	2,940,921	37,000	0	0	0	2,903,921

◎ 令和 6 年度の事業実績 (成果)

人権啓発活動の実施により差別や偏見による認識の誤りを解消するとともに、町民一人ひとりの人権意識を高めることができました。また、平和事業としてヒロシマ・ナガサキ原爆写真展を通じ平和の重要性を伝えました。

男女がお互いの人権を尊重し、個性と能力を十分発揮でき、責任を分かち合う男女共同参画を実現するため、市民参加を軸に普及・啓発活動を行い意識の高揚を図ることができました。

また、宮代町人権施策推進指針の理念に基づき、人権を当たり前の習慣・文化として町民が人権を尊重し合う社会の実現のため、職員・教職員及び町民への研修会を実施しました。

<実施内容>

■人権啓発・教育研修会の実施

正しい人権感覚を養うために、地域住民や教職員を対象とした人権教育研修会を実施しました。

また、各小中学校においても、人権教育に取り組みました。

<主な取り組み>

①教職員人権教育研修会 8 月 23 日

②人権作文発表会と人権教育研修会 12 月 6 日

③人権問題合同研修会 2 月 5 日

■町民法律相談の実施

町民の日常生活における様々な悩み事の法的な解釈や手続き等について、毎月第 2・4 火曜日に弁護士による法律相談を実施しました。

実 施 日：毎月第 2・第 4 火曜日

年間相談件数：95 件

■人権教室の開催

人権擁護委員による人権教室を開催しました。

テーマ：人権擁護委員による人権教室

実施日：令和 6 年 12 月 9 日 (月)

内 容：生徒による人権作文発表

DVD 視聴『リスペクトアザース』・ワーク

人権擁護委員による講話

参加者：百間中学校全校生徒と教職員 415 人

■第 3 次男女共同参画プランの推進

令和 4 年度からスタートした「第 3 次男女共同参画プラン」に基づき、男女共同参画に関する研修会の開催や啓発活動に取り組みました。

■男女共同参画研修の実施（みやしろ大学と連携）

テーマ：人生100年時代自分の人生は自分で選ぶ！創る！

講師：竹野 通子氏 明治安田生命保険相互会社

実施日：令和7年1月21日（火）

参加者：93名（みやしろ大学受講生）

■女性活躍研修の実施

テーマ：女性職員キャリアデザイン研修

講師：豊島 ゆり 氏 株式会社インソース

実施日：令和7年1月29日（水）

参加者：37名（町職員）

■男女共同参画社会推進会議の運営（3回開催）

5人の市民メンバーで男女共同参画セミナーの企画・実施及び情報誌の作成を行いました。

①男女共同参画情報誌「ふらふーぶ」の発行（広報2月号特別付録）

（特集記事）

- ・埼玉県多様な働き方実践企業 in みやしろ「宮代町社会福祉協議会」
- ・みやしろ輝き人 千把 道雄 氏

②男女共同参画セミナーの実施

テーマ：健康の秘訣は『食』にあり 〜いつまでも若々しく！老化を防いで身体の中から健康に〜

講師：明治安田生命保険相互会社 青木 恵理 氏

（埼玉東支社 杉戸宮代営業所 営業所長）

実施日：令和7年3月22日（土）

参加者：61名



■女性相談の実施

女性が生活の中で直面している様々な悩みを打ち明けられる場として、女性相談員による相談を実施しました。

実施日：毎月第3月曜日、年2回休日相談

年間相談件数：24件

■男女共同参画パネル展の開催

(1) 男女共同参画週間パネル展

テ ー マ：「多様な性知っていますか？」

開催期間：①令和6年6月24日（月）～7月8日（月）

②令和7年1月17日（金）～1月23日（木）

場 所：①役場庁舎税務課前ロビー

②町立図書館展示ホール

(2) 女性に対する暴力をなくす運動実施週間のパネル展 ※子育て支援課と連携して開催

テ ー マ：「STOP!!児童虐待&STOP!!DV」

開催期間：令和6年10月21日（月）～29日（火）

場 所：役場庁舎税務課前ロビー

■性的少数者（LGBT等）に対する取り組み

人権・男女共同参画研修の実施

テ ー マ：性の多様性／LGBTについて

講 師：小泉 涼 氏（ダイバーシティ信州会長）

実 施 日：令和7年1月17日（金）

参 加 者：宮代町新規採用職員・未受講者 16名

宮代町商工業者 3名

■平和啓発事業の実施

平和の大切さの啓発及び平和教育の一環として、「ヒロシマ・ナガサキ 原爆写真展」及び戦争・平和に関する資料展示、読み聞かせを行いました。

①ヒロシマ・ナガサキ原爆写真展

実 施 日：令和6年7月19日（金）～8月10日（土）

場 所：町立図書館展示ホール

②【資料展示】絵本からみる戦争のおそろしさ～ちいちゃんのかげおくり～

実 施 日：令和6年7月19日（金）～8月10日（土）

場 所：町立図書館展示ホール

④戦争・平和に関する絵本の読み聞かせ

実 施 日：令和6年7月25日（木）、27日（土）、8月1日（木）

3日（土）、8日（木）10日（土）

場 所：町立図書館おはなしコーナー



日工大サイエンスプロジェクト

【日工大サイエンスプロジェクト事業 決算書 P168】

教育推進課

学校教育担当

内線 423

6 年度予算 (円)	6 年度決算 (円)	6 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
617,000	418,000	0	0	0	0	418,000

◎ 令和 6 年度の事業実績 (成果)

昨年度のモデル授業等をもとに、本年度は、町内小学校 6 年生と中学校 2 年生を対象に、日本工業大学において大学教授や大学生による講義及び観察等を実施しました。さらに、夏季休業期間中に小中学校の教職員を対象に、日本工業大学において研修会を実施しました。実施後、児童生徒、教職員それぞれを対象に振り返りアンケートを行いました。今後も、プロジェクトをさらに充実させていけるよう検討を行っていきます。

<実施内容>

■日工大サイエンスプロジェクトの実施①

夏季休業期間中の 8 月 26 日 (月) に、小中学校の先生を対象とした研修会を日本工業大学で実施しました。2 学期以降の学習内容を中心とした研修を実施しました。町内の 21 名の先生が参加しました。

■日工大サイエンスプロジェクトの実施②

小学校は、令和 7 年 2 月 26 日 (水) に須賀小学校、百間小学校、東小学校、27 日 (木) に笠原小学校の 6 年生を対象に、中学校は、令和 7 年 3 月 6 日 (木) に百間中学校、7 日 (金) に須賀中学校、前原中学校の 2 年生を対象に日工大サイエンスプロジェクトを実施しました。

宮代町立小中学校適正配置事業

【小中学校適正配置事業 決算書 P160】

教育推進課

教育総務担当

内線 425

6 年度予算 (円)	6 年度決算 (円)	6 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
261,845,000	95,784,341	0	0	64,900,000	0	30,884,341

※令和5年度からの繰越分を含みます。

※令和6年度予算のうち、157,592,400円を令和7年度に繰り越しています。

◎ 令和6年度の事業実績（成果）

令和4年度から検討を進めている須賀小学校の再整備において、令和6年3月に策定した基本計画を基に須賀小学校の設計コンセプトや構造の基本的な設計を行う基本設計を実施しました。基本設計では、地域ワークショップのほか、町議員、整備推進委員会、教職員、児童、学童とのワークショップや国納保育園でのヒアリングを実施し、設計者の提案について多くの意見やアイデア等をいただきました。

また、須賀歩道橋において、須賀小学校地域拠点施設整備に係る先行工事を実施しました。

<実施内容>

■議員ワークショップ（9月10日） 参加者：12名

町議員から新しい須賀小学校の配置案3案について、良いところ・心配なところについて意見を伺うワークショップを開催しました。

■地域ワークショップ（全3回）

- ・基本設計にあたり、地域住民や関係者等に事業への理解や関心を深めてもらうとともに、地域拠点施設に関するアイデアや意見等の話し合いを行いました。
- ・第1回 須賀小と地域が一緒「どんなの？どんなの？」（10月26日） 参加者：44名
- ・第2回 須賀小と地域の交流「どうする？どうする？」（11月24日） 参加者：35名
- ・第3回 須賀小と地域の未来図を語ろう。（12月14日） 参加者：38名

■国納保育園ヒアリング（11月14日） 参加者：5名

- ・新しい施設ができることで、保育園の園児や支援センターの利用者が抱くやりたいこと・不安なこと・疑問なこと等の意見を伺いました。

■教職員ワークショップ（12月3日） 参加者：14名

- ・須賀小学校教職員を対象に、基本設計案について意見交換を行い、教職員の視点から多様な意見を伺いました。

■児童ワークショップ（1月23日） 参加者：約50名

- ・須賀小学校の5・6年生を対象に、再整備後の須賀小に新たにできるメディアセンターについて、先進事例等を紹介しながら、そこでやりたいことや、須賀小学校の児童ならではのアイデアや意見を伺いました。

■学童ワークショップ（１月２３日） 参加者：約５０名

- ・かえで児童クラブの子どもたちを対象に、現在、学童保育所の子どもたちのお気に入りの場所や、そこで何をするのが好きなのかを聞くことで、新しい学童保育所でもどのような活動が行われているかを想像するヒントを伺いました。

■須賀小学校地域拠点施設整備推進委員会の会議（９月１０日、１１月１４日、１月９日）

- ・地域住民、学校関係者、有識者など１４名からなる須賀小学校地域拠点施設整備推進委員会の会議において、基本設計の作成に向けて、意見交換やアイデア出し等を行いました。

■須賀小学校地域拠点施設基本設計の作成（２月）

- ・上記の結果を踏まえ、須賀小学校地域拠点施設基本設計を作成しました。

■須賀小学校地域拠点施設パース図



教 育 推 進 課

■ 本年度の成果

次世代を担う子供たちがいきいきと学び健やかに成長するための学校教育の充実、町民の皆さんが健康で活力に満ちた生活を送るための生涯学習施策の推進を図るとともに、教育支援センターの運営、小中学校体育館の非構造部材改修工事を進めるなど、教育環境の向上に努めることで心豊かでたくましい児童生徒の育成と町民の創意を生かした学びの場づくりの取組を行い、次のような成果をあげることが出来ました。

1. 教育総務・学校教育

町独自に非常勤講師を各学校に配置し、児童生徒一人一人を大事にするきめ細やかな学習指導を行い、児童生徒の学力向上を目指した教育活動を行って参りました。さらに、「心の教育」についても、郷土資料「島村盛助、どんぐりピアノ、山崎山」をはじめ適切な資料を活用し、道徳教育の充実を図りました。

小中学校一貫教育は、21年目を迎え各中学校区で地域性や実態に応じて、小中9年間を見通した計画を作成し、指導の一貫性をもって、特色ある教育活動が展開されました。その成果として、「島村盛助氏を顕彰する英語活動発表会」では、オンラインによる交流会を通して、島村盛助氏の功績を改めて確認するとともに、小・中学生の英語を学ぶ意欲を育て、国際理解教育の推進、コミュニケーション能力の向上などを図ることができました。

環境教育においては、これまでの学校内での取組を基に、児童生徒が家庭においても様々な環境問題に課題意識をもって取り組むことができました。さらに、児童生徒が中心となって家族の環境意識の向上を図る取組を進めました。

特別支援教育においては、各校に特別支援学級（知的、自閉症・情緒）を、また難聴・言語障害通級指導教室は町内に2教室で、児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細やかな指導の充実を図ることができました。

学校運営においては、学校の自己評価、関係者評価、保護者アンケート等を公開することにより、学校課題を学校だけでなく保護者、地域とも共有し、新たな目標に地域が一体となって取組を進めました。また、町内全小・中学校に学校運営協議会を設置し、地域の中で特色ある学校づくりを目指すことができました。

不登校対策事業では、さわやか相談員やボランティア相談員、不登校対策学習支援員、さらにはスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと協力して対策に取り組みました。また、教育支援センター内には教育相談員、支援員、専門相談支援員を配置し、より一層の支援体制の構築と安定した運営に努めました。

安全対策では、地域の防犯ボランティアの方々との連携により、児童生徒への交通事故や不審者に対する安全確保に努めました。

小中学校施設については、老朽化の進む学校施設において、校舎の安全性を確保するため、東小学校及び百間中学校において、外壁等改修工事の設計を行いました。また、小中学校のトイレの改修工事の設計を行いました。さらに、児童生徒が安心・安全に学校施設を利用できる教育環境を整備するため、学校施設個別施設計画に基づき、百間小学校、前原中学校の体育館について、非構造

部材改修工事を実施いたしました。

学校給食では、食材費の価格が高騰する中、美味しくて、栄養のある給食の提供を維持するため、昨年度に引き続き町による食材費の一部補填を行いました。また、引き続き、地産地消の推進と児童生徒の郷土理解を深めるため、地元産の食材の活用を推進し、令和6年度には米約27.0トン、野菜等約8.7トンを含む、合せて31品目、約35.7トンを使用しました。

宮代町立小中学校適正配置事業では、地域ワークショップ、団体ヒアリング、教職員ワークショップ等を開催し、地域や関係者の意見やアイデア等を聴取しながら、須賀小学校地域拠点施設整備推進委員会を中心に検討を進め、令和7年2月に、須賀小学校地域拠点施設基本設計を作成いたしました。

2. 生涯学習

小学校4年生から6年生を対象にした「子ども大学みやしろ」では、参加者からのアンケートや日本工業大学、民間事業者との連携により、参加者のニーズに応えるとともに、大学や企業の特徴を生かした講義プログラムにより好評の声をいただいております。

60歳以上のシニア世代を対象とした「みやしろ大学」については、会場を図書館ホールから進修館大ホールへ変更したことで、人数制限を設けず多くの方に参加いただきました。

また、町の文化芸術の祭典となる町民文化祭の後継としてリニューアルした「みやしろ芸術祭」では、進修館大ホールでの踊りや合唱などの発表会を再開し、公民館などでの日ごろの活動成果の発表機会を提供することができました。

3. 町立図書館

指定管理者が持つ専門性やノウハウ、組織力を活かし図書の収集・貸出を行うとともに、町民ボランティアの協力による行事開催や蔵書管理を行うことができました。その中でも、令和6年度は、図書館開館30周年記念事業や東武動物公園飼育員による講演会を開催し、多くの方に参加いただくことができました。また、電子図書館利用促進の一環として体験会を実施し、利用者アップに向けた取組も実施しました。

4. スポーツ振興

町民の体力向上やスポーツに親しむ機会を提供するため、小学生から高齢者までを対象としたスポーツ教室を開催するとともに施設の維持管理に努めました。3年目を迎えた町民スポーツフェスティバルにおいては、前年度の参加団体のほか、新たに公募による実行委員を募った結果、23ブースによる各種スポーツ体験をしていただける機会の創出ができ、多くの方に参加いただきました。また、宮代町総合運動公園においては、指定管理者の持つ専門性を活かした様々な種目の教室を開催し、多くの方に参加いただきました。

5. 文化財保護

郷土資料館では、小中学生を対象とした「夏休み体験講座 郷土資料館へ行こう」や、一般の方対象の「歴史講座」などを開催しました。また、西原自然の森敷地内の活用促進を図るため、他課と共催で「西原自然の森フェスタ2024」を開催し、多くの方にご来場いただきました。

文化財保護においては、まちづくり基金を活用して、字西原の「地藏院遺跡」に文化財案内板を

設置しました。

埋蔵文化財発掘事業では、個人住宅の建設に伴う試掘調査を実施しました。また、過去の発掘調査における成果として、発掘調査報告書第26集「地蔵院遺跡（第二次）」を刊行するとともに、平成29年度及び令和3年度道仏遺跡発掘調査で出土した遺物整理を行いました。

■ 令和6年度前期実行計画

西原自然の森活用事業（移築民家活用編）	27
まちなかどこでもミュージアム事業	31
地域のみんなでこどもたちの居場所づくり事業②	41
人権・平和推進事業	45
日工大サイエンスプロジェクト	51
宮代町立小中学校適正配置事業	52

■ 本年度の主要事業

交通安全・防犯対策事業	178
いじめ・不登校対策事業	179
小中一貫教育推進事業	179
町民みんなが先生推進事業	181
英語教育推進事業	181
I C T教育推進事業	181
小学校施設管理事業	182
小学校要準特別支援教育就学援助事業	182
小学校環境教育推進事業	183
中学校施設管理事業	183
中学校要準特別支援教育就学援助事業	184
社会教育活動事業	184
人権教育推進事業	185
青少年健全育成事業	185
公民館管理運営事業	187
図書館管理運営事業	187
文化財保護事業	190
埋蔵文化財発掘調査事業	191
資料館管理運営事業	192
総合運動公園管理事業	195
社会体育施設維持管理事業	197
生涯スポーツ振興事業	198
学校給食運営管理事業	199

6年度予算 (円)	6年度決算 (円)	6年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
120,000	112,080	0	0	0	0	112,080

[主な実施内容]**■新入学児童全員に防犯ブザーの配布**

トラック協会から寄贈された防犯ブザーを新入学児童全員に配布しました。

■通学路点検

小学校、中学校の通学路を点検し、通学路の把握とともに、危険箇所を確認し、地域、警察、関係課と連携して改善に向けて努めてきました。

■「こども１１０番の家」の設置

「こども１１０番の家」は、現在１２８軒あります。

児童生徒の登下校時や放課後において、不審者に出会ったり、不慮の危険に巻き込まれそうになったりしたときの駆込み拠点として、また、落雷や大雨、竜巻などの自然災害から一時的に身を守る避難所として、協力していただいております。

■学校安全体制推進「スクールガード」・「スクールガードリーダー」の設置

学校や通学路における事件・事故が大きな問題となっている近年の状況を踏まえ、安全で安心な学校を確立するため、児童生徒が安心して教育を受けられるよう、家庭や地域の関係機関と連携しながら、各学校・地域で、安全パトロール（スクールガード）等を組織（小学校４校１８１人）しています。また、県からスクールガードリーダーの委嘱を受けた各小学校の代表が中心となって、学校間の連携を図りながら学校の巡回・指導、登下校時の見守り活動を行うなど実施体制の維持強化を図りました。

[成 果]

登下校指導及び通学路の点検等の活動もあり、大きな交通事故はありませんでした。また、「こども１１０番の家」やスクールガード等の御協力により、不審者による重大な事件も発生しておりません。

「こども１１０番の家」に新たに御協力いただける方も増え、スクールガードリーダーを中心に安全パトロールのボランティアの方々が、登下校時において毎日子供たちを見守り、安全を確保していただいているため、下校時における不審者情報等も減少しました。また、子供たちの顔を地域の方々に知っていただいたり、コミュニケーションを深めたりするなど、地域の防犯意識も高まってきています。

いじめ・不登校対策事業

〔学校教育担当〕 決算書 P164

6年度予算 (円)	6年度決算 (円)	6年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
726,000	725,436	0	0	0	0	725,436

【主な実施内容】

各中学校に1人の県費助成相談員を配置したほか、町独自の体制として相談員や支援員を配置し、児童生徒や保護者からの相談体制を継続して実施しました。また、教育支援センターには、教育相談員と専門相談支援員を配置し、児童生徒や保護者、教職員の相談やフォローアップを実施しました。

【成 果】

令和6年度の不登校の児童生徒は60人でした。

ただし、多くは、学校に全く通えていないのではなく、相談室等へ登校しながら学校生活に徐々に慣れてきた傾向にあります。また、宮代町教育支援センターへ通級し、学習面や生活面の支援を受けながら集団生活の適応や心の安定を図っている児童生徒もいます。

また、学校の全教職員と中学校配置相談員（さわやか相談員）、ボランティア相談員、教育相談員、専門相談支援員が連携して児童生徒へのフォローに努め、登校ができるよう支援を行いました。さらに、県から小中学校7校に派遣されたスクールカウンセラーの協力を得ながら、専門的な見地からの保護者への支援を行いました。

宮代町の全児童生徒に対する不登校児童生徒の割合は、小学校では1.1%、中学校においては5.8%です。

小中一貫教育推進事業

〔学校教育担当〕 決算書 P164

6年度予算 (円)	6年度決算 (円)	6年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
230,000	226,610	0	0	0	0	226,610

【主な実施内容】

■宮代町立小中学校一貫教育推進委員会の運営

第1回目は委員が集まり今年度の各中学校区での取組について話し合いを行いました。それぞれの中学校区での取組を参考にしながら、中学校区ごとに小中一貫の取組が進められるよう実施しました。第2回は、1年間の成果や課題を挙げ、令和7年度の教育活動につなげられるよう、まとめを行いました。

須賀小・中学校では、Sプランをもとに「力いっぱい!」「全力」を合言葉にして取り組みました。今年度も、「つなぐ」をキーワードに、ねらいを「指導をつなぐ、児童生徒の心をつなぐ、教職員の意識をつなぐ」として取り組み、より一層の推進を目指しました。令和6年度は、これまでの取り組みを見直し、より一層内容の精選を図るとともに、「持続可能な取組の中でより一層効果が図れること」等を早期に計画、推進することができました。

東小学校・笠原小学校・百間中学校においては、ゆずり葉プランに基づいて、今年度も、「教科における緩やかな連携」「学習内容の関連の明確化」「英語科授業の連携」「挨拶運動での交流」「生活面・学びにおける共通事項の確認及び実践」を継続して行いました。9年間の目指

す子供像について教職員の共通理解を図り、学びの連続性を重視しながら児童生徒の学習意欲を向上させること、小中の交流を通して豊かな心の育成を図ることを目指し指導を進めることができました。

百間小学校・前原中学校では、Mプランに基づいて、「気持ちよく挨拶できる児童生徒」「人の話を、目を見てしっかり聞ける児童生徒」「家庭学習に進んで取り組む児童生徒」を重点として継続して取り組みました。確かな学力の育成と心豊かな児童生徒の育成を目指し、研修を通しての教職員の資質向上に努めました。小中学校の教員が互いの学習指導、生徒指導について理解を深め、より効果的な指導を行うことができるようになりました。

■小中学校一貫英語教育の推進

全小学校に専属の日本人の外国語活動補助員を週2日配置し、小学校外国語活動・英語科の一層の推進を図りました。また、小学校では、英語の専科教員が担任、外国語活動補助員や英語指導助手（ALT）と連携して指導し、外国語教育の充実に向けて取り組みました。

小学校6年生、中学校2年生の全児童生徒を対象として、郷土の偉人「島村盛助を顕彰する英語活動発表会」を各中学校区で開催し、オンラインによる交流を行いました。

■道徳教育の推進

郷土道徳資料として作成した島村盛助、どんぐりピアノ、山崎山の三部作を、全小中学校で年間指導計画に位置づけ道徳の時間において活用しました。各校の取組は、学校便りやホームページ等を通して、家庭や地域に各校の道徳教育として発信しました。

[成 果]

全中学校区において、地域の特性を生かした連携を図り、小中一貫教育を推進しました。中学校区ごとに小中9年間を見通したプランを作成し、小学生の中学校生活への不安感の解消と、中学校生活に対する期待感の向上を図り、中一ギャップの解消につなげるよう努めました。

英語教育においては、外国語活動補助員及びALTの積極的な活用を図りました。令和2年度からは、小学校で新しい学習指導要領のもと、小学校3・4年生で週1時間の外国語活動、5・6年生で週2時間の外国語科の授業を実施しています。百間中学校区で行われていた外国語教育研究の成果を生かしながら、指導の充実を図ることができました。また、道徳教育においては、郷土資料を使つての授業を計画的に実施し、郷土愛をはぐくみ、道徳の授業に対する児童生徒の興味・関心を高め、心の教育を推進することができました。また、研究授業を通して、道徳教育の授業力向上に結びつけることができました。

町民みんなが先生推進事業

〔学校教育担当〕

決算書 P164

6年度予算 (円)	6年度決算 (円)	6年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
1,319,000	1,088,992	0	272,000	0	0	816,992

【主な実施内容】

「町民みんなが先生」制度により、部活動等で8人の方々が小中学生の指導を行いました。

【成 果】

児童・生徒が町民の方々の優れた技術や知識に触れることにより、学習意欲や向上心が培われました。また、町民の方々と児童・生徒との触れ合いの場ともなり、地域に開かれた学校づくりが一層推進されました。

英語教育推進事業

〔学校教育担当〕

決算書 P164

6年度予算 (円)	6年度決算 (円)	6年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
20,127,000	19,508,600	0	0	0	2,000,000	17,508,600

【主な実施内容】

町内中学校に英語指導助手を各校1人ずつ配置するとともに、小学校には英語指導助手を2校に1人配置しました。

【成 果】

小学校においては、外国語活動・英語科学習の中で、英語の音声にたくさんふれながら、児童が英語を身につける指導を行うことができました。また、他国の文化を知る国際理解教育が推進できました。

中学校においては、英語を使って互いの気持ちや考えを伝え合う活動や、具体的な場面や状況に合った表現を用いて、事実や思いを伝える活動を行うことができました。その結果、コミュニケーション能力を高めることができました。また、「島村盛助を顕彰する英語活動発表会」を各中学校区においてオンラインで開催し、小・中学校における英語の学習の成果等を発表することができました。

ICT教育推進事業

〔教育総務担当〕

決算書 P166

6年度予算 (円)	6年度決算 (円)	6年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
35,715,000	35,553,581	0	0	0	0	35,553,581

【主な実施内容】

各小・中学校のパソコン室の管理、GIGAスクール構想の実現に向け1人1台情報端末を活用したICT教育の推進に取り組みました。また、令和8年度における1人1台情報端末の更新に向けて、「これからのICT教育の推進及び1人1台端末のOS選定に係る検討委員会」を開催し、次期情報端末のOSの選定や情報端末の利活用計画等の策定を行いました。

【成 果】

1人1台情報端末の活用を通じて、子供たちの情報活用能力を高め、主体的・対話的で深い学びを実現しました。

小学校施設管理事業

〔教育総務担当〕

決算書 P172

6 年度予算 (円)	6 年度決算 (円)	6 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
106,361,000	103,360,472	7,189,000	0	20,900,000	40,030	75,231,442

※令和5年度からの繰越分を含みます。

【主な実施内容】

■町内各小学校の施設整備・改修・修繕（主なもの）

内 容	契約期間	金額 (円)
令和6年度百間小学校屋内運動場非構造部材改修工事	R6.6.7～R7.2.28	22,902,000

【成 果】

百間小学校の屋内運動場において、地震による落下物（照明やバスケットゴール等）から児童等を守るため、落下防止対策を実施しました。

小学校要準特別支援教育就学援助事業

〔学校教育担当〕

決算書 P174

6 年度予算 (円)	6 年度決算 (円)	6 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
15,806,000	10,902,659	439,000	0	0	0	10,463,659

【主な実施内容】

経済的理由により就学費用の負担が困難な児童の保護者に対して、就学援助費として学校給食費・学用品費等を支給しました。

また、学校教育法施行令第22条の3に規定する障害の程度に該当する児童又は特別支援学級に就学する児童の保護者に対して、就学奨励費として学校給食費・学用品費等を支給しました。

【成 果】

保護者の経済的負担の軽減により、教育の機会均等と格差是正の促進を図ることができました。

就学援助費支給者は132人（7,907,418円）となりました。また、特別支援教育就学奨励費支給者は40人（1,020,821円）となりました。

加えて、翌年度新小学1年生・中学1年生となる新入学児童生徒の保護者に対して、入学準備のための学用品費の事前支給をしました。事前支給者は32人（1,974,420円）となりました。

小学校環境教育推進事業

〔学校教育担当〕

決算書 P-

6 年度予算 (円)	6 年度決算 (円)	6 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
6,000	0	0	0	0	0	0

【主な実施内容】

各校の代表児童生徒による宮代町子ども環境会議を参集型で実施し、各小・中学校が、話し合った内容を踏まえた環境対策に取り組みました。

【成 果】

令和6年12月13日、宮代町進修館大ホールと各校をオンラインでつなぎ「キッズエコサミット宮代2024」を開催しました。小学校5・6年生全員と中学校の代表生徒が参加し、各校で年間をとおして取り組んだ環境への取組を紹介しました。

また、自分たちで行える環境への取組について話し合う「子ども環境会議」も開催しました。電気、水道がなかった江戸時代にタイムスリップしたつもりで、節電、節水に取り組む日である「宮代江戸の日」を実施しました。町内小・中学生が取り組み、「エアコンではなく湯たんぽを使った」「こまめに部屋の電気を消したり、電気のかわりにろうそくを使ったりして過ごした」「テレビゲームやタブレットではなくカルタや羽根つきをして遊んだ」「食材を無駄にしないように、普段捨ててしまうところも使って料理をした」など、子供たちが自ら考えた取組が見られ、環境への意識が高まっています。

中学校施設管理事業

〔教育総務担当〕

決算書 P178

6 年度予算 (円)	6 年度決算 (円)	6 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
101,976,000	89,386,033	8,161,000	0	22,300,000	12,210	58,912,823

※令和5年度からの繰越分を含みます。

※令和6年度予算のうち、7,040,000円を令和7年度に繰り越しています。

【主な実施内容】

■町内各中学校の施設整備・改修・修繕（主なもの）

内 容	契約期間	金額 (円)
令和6年度前原中学校屋内運動場非構造部材改修工事	R6. 6. 7～R6. 2. 28	23,430,000

【成 果】

前原中学校屋内運動場において、地震による落下物（照明やバスケットゴール等）から生徒等を守るため、落下防止対策を実施しました。

中学校要準特別支援教育就学援助事業

〔学校教育担当〕

決算書 P180

6年度予算 (円)	6年度決算 (円)	6年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
10,804,000	6,508,121	227,000	0	0	0	6,281,121

【主な実施内容】

経済的理由により就学費用の負担が困難な生徒の保護者に対して、就学援助費として学校給食費・学用品費等を支給しました。

また、学校教育法施行令第22条の3に規定する障害の程度に該当する生徒又は特別支援学級に就学する生徒の保護者に対して、就学奨励費として学校給食費・学用品費等を支給しました。

【成 果】

保護者の経済的負担の軽減により、教育の機会均等と格差是正の促進を図ることができました。就学援助費支給者は68人(6,127,146円)となりました。また、特別支援教育就学奨励費支給者は8人(380,975円)となりました。

社会教育活動事業

〔生涯学習室〕

決算書 P182

6年度予算 (円)	6年度決算 (円)	6年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
2,587,000	1,380,736	0	0	0	0	1,380,736

【主な実施内容】

■みやしろ大学

119 円

60歳以上の方を対象とした「みやしろ大学」では、受講生が運営委員となって講座の企画運営に携わり、シニア世代の生きがいづくりや健康づくりにつながる講座などを開催しました。

回	テーマ・内容	開催日	会 場	参加者数
1	楽しく食べて健康に！	9月17日	進修館大ホール	120人
2	相続おしかけ講座	10月15日	進修館大ホール	116人
3	私たちをとりまく化学物質	12月17日	進修館大ホール	90人
4	フレイル予防講座「人生100年時代 自分の人生は自分で選ぶ！創る！」	1月21日	進修館大ホール	93人
5	心の健康を考える-ストレスを中心に-	2月18日	進修館大ホール	97人

■二十歳のつどい(令和7年1月12日(日))

668,254 円

令和4年4月からの改正民法の施行による成人年齢の引き下げにより、「二十歳のつどい」として新20歳の方を対象として、町の特色を活かし、レジャーランドのある「東武動物公園」を会場に開催しました。企画、運営は対象者で構成される実行委員会により行われ、190人が参加しました。

【成 果】

二十歳のつどいについては、東武レジャー企画(株)の協力により東武動物公園イベントステージHOLA!(オーラ)を会場に、レジャーランドのある地域特性を活かした式典を開催することができました。

また、みやしろ大学については、図書館ホールから進修館大ホールへ会場を戻し、人数制限を設けずに開催したことから、令和5年度よりも多くの方にご参加いただくことができました。

人権教育推進事業

〔生涯学習室〕

決算書 P182

6 年度予算 (円)	6 年度決算 (円)	6 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
1,012,000	576,941	0	0	0	0	576,941

〔主な実施内容〕

■子ども人権講座の開催

40,000 円

町内の小学校 6 年生全員を対象に子ども人権講座「視力を失って見えたもの」を開催し、258 人が受講し、命の大切さについて学ぶことができました。

■人権文集（あおぞら第 30 集）の発行

103,714 円

各小・中学校の児童生徒が書いた人権作文・標語を作品集にまとめました。また、作文発表会には、会場校の 5・6 年生 177 人、一般 10 人が参加しました。

■宮代町人権教育推進協議会への助成

242,483 円

人権教育の振興と明るい地域社会づくりのため、宮代町人権教育推進協議会の啓発、研修活動に対して助成を実施しました。

〔成 果〕

子ども人権講座では、講師から「相手の気持ちを考えること」の大切さ、「誰もが尊い存在であり、大切にされるべき存在であること」等について講演をいただき、子供たちにとって生きることの視座をたくさん含んだ研修となりました。人権作文や標語の作成では、子供たち一人一人が人権問題について考える機会となりました。

青少年健全育成事業

〔生涯学習室〕

決算書 P184

6 年度予算 (円)	6 年度決算 (円)	6 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
482,000	344,678	0	0	0	36,900	307,778

〔主な実施内容〕

■子ども大学みやしろ

50,000 円

日本工業大学と連携し、小学校 4～6 年生を対象に「子ども大学みやしろ」を開校しました。

回	講義名	期日	場所	参加者数
1	ドローンを飛ばしてみよう！ ～レッツ・スクラッチ～	9 月 8 日（日）	日本工業大学 14 号館	40 人
2	なるほど！船づくり！！	9 月 21 日（土）	すてっぷ宮代 しいがし	39 人
3	しろくまカメラマンに きいてみよう！	9 月 28 日（土）	日本工業大学 5 号館	37 人
4	国立印刷局とお札について	10 月 27 日（日）	すてっぷ宮代 しいがし	33 人

5	SDGs を学び、 工作を通じて体験しよう！	11 月 10 日（日）	日本工業大学 5 号館	35 人
6	からだをつかって遊べる ゲームをつくろう！	11 月 24 日（日）	日本工業大学 14 号館	37 人

■新みやしろ郷土かるた大会・彩の国 21 世紀郷土かるた大会

65,097 円

宮代町と埼玉県それぞれの歴史、文化、風景、自然などを題材として制作された郷土かるたの大会を開催しました。

大会名	期日	場所	対象	参加者数
新みやしろ郷土かるた大会	7 月 14 日（日）	進修館 大ホール	小学校 1～6 年生	159 人
彩の国 21 世紀郷土かるた宮代大会	1 月 19 日（日）	進修館 大ホール	小学校 1～6 年生	78 人

■宮代町青少年相談員の活動

189,581 円

令和 6 年 7 月 27 日から 1 泊 2 日でサマーキャンプを栃木県日光市「安らぎの森自然公園」で開催し、小学校 4 年生から 6 年生 14 人が参加しました。

また、新みやしろ郷土かるた大会、彩の国 21 世紀郷土かるた大会では、審判や読み手といった大会運営のサポートを行いました。

■宮代町青少年育成推進員の活動

24,000 円

青少年健全育成駅頭キャンペーン及び町民まつり当日の夜間パトロールを実施しました。

期日	内容
7 月 5 日	青少年健全育成駅頭キャンペーンを実施
7 月 12 日	「社会を明るくする運動」キャンペーンに参加
8 月 24 日	町民祭り会場周辺の夜間パトロールを実施
11 月 25 日	町内コンビニエンスストア 5 店舗を巡視
12 月 16 日	町内全域の夜間パトロールを実施

[成 果]

子ども大学みやしろでは、日本工業大学との連携による実行委員会を組織し、大学教授や学生団体による大学の特色を活かした専門的な講義や民間企業による出前講座をカリキュラムに取り入れました。

郷土かるた大会では、競技を通して仲間づくりや郷土愛を育む機会を設けることができました。新みやしろ郷土かるた大会は、53 チーム 159 人が参加しました。また、彩の国 21 世紀郷土かるた大会では、宮代大会における上位成績のチームが令和 7 年 3 月に開催された埼玉県大会に出場し、個人戦の部ではベスト 32 の成績を収めました。

公民館管理運営事業

〔生涯学習室〕 決算書 P184

6 年度予算 (円)	6 年度決算 (円)	6 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
7,391,000	7,056,484	0	0	0	2,359,120	4,697,364

〔主な実施内容〕

■公民館の利用状況

開館日数：308日

		6 年度 A	増減 A-B	5 年度 B	4 年度
百間公民館	利用回数	1,269	△154	1,423	1,513
	利用人数	13,731	△596	14,327	14,493
川端公民館	利用回数	1,700	△101	1,801	1,916
	利用人数	13,003	△270	13,273	13,171
和戸公民館	利用回数	1,980	124	1,856	1,977
	利用人数	15,864	903	14,961	15,037
合 計	利用回数	4,949	△131	5,080	5,406
	利用人数	42,598	37	42,561	42,701

〔成 果〕

文化、芸術、軽スポーツ、健康づくり、自治会など、さまざまな分野のサークル、団体の活動拠点として利用され、町民の生涯学習、地域コミュニティ活動の推進に寄与しました。

図書館管理運営事業

〔生涯学習室〕 決算書 P184

6 年度予算 (円)	6 年度決算 (円)	6 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
88,376,000	88,370,000	0	0	0	47,760	88,322,240

〔主な実施内容〕

指定管理者制度を活用し、図書館の管理運営を行いました。

■図書館の利用状況

		6 年度 A	増減 A-B	5 年度 B	4 年度
開 館 日 数 (日)		289	△2	291	290
貸 出 者 数 (人)		69,084	△3,061	72,145	75,679
うち広域対象		19,608	△1,607	21,215	21,463
貸 出 冊 数 (冊・点)		232,720	△16,482	249,202	266,832
うち広域対象		60,664	△6,366	67,030	71,147

■図書等の所蔵数の状況

	6 年度 A	増減 A-B	5 年度 B	4 年度
図 書 (冊)	274,436	2,025	272,411	270,222
うち一般書	207,825	1,228	206,597	205,183
うち児童書	66,611	797	65,814	65,039
視聴覚資料(点)	8,170	△69	8,239	8,121
合 計	282,606	1,956	280,650	278,343

■各種行事等の実施状況

童話と絵本の会や子ども映画会などボランティア団体等の協力による月例（定期）行事のほか、ナクソス・ミュージック・ライブラリーを利用したコンサートなどを開催しました。

【月例行事】

行 事 名	回数	参加者数
童話と絵本の会	全 13 回	145 人
紙芝居と折り紙	全 12 回	186 人
おはなし会	全 20 回	144 人
こども映画会	全 9 回	129 人
ライブラリーシアター	全 12 回	524 人
ナクソス音楽会	全 12 回	241 人
えほんの会（すいよう・にちよう）	全 23 回	273 人

【定例季節行事】

行 事 名	開催日・回数	参加者数
としょかんこどもまつり	4 月 28 日（日）	116 人
朗読会	5 月 26 日（日）、12 月 1 日（日）	50 人
夏休み親子で楽しむおはなしと映画	7 月 27 日（土）、 8 月 17 日（土）、8 月 24 日（土）	25 人
夏休み子ども映画会	7 月 28 日（日）、8 月 4 日（日）	29 人
夏休み科学あそび教室	8 月 2 日（金）	26 人
夏休みおはなし工作会	8 月 12 日（月・祝）	19 人
夏休み読書感想文教室	8 月 18 日（日）	13 人
漫談を楽しむ会（DVD）	9 月 20 日（金）	34 人
図書リサイクル市	10 月 5 日（土）、6 日（日）	80 人
ぬいぐるみおとまり会	10 月 13 日（日）、14 日（月・祝）	21 人
クリスマスお楽しみ会	12 月 22 日（日）	67 人
おとなのための昔話と音楽	2 月 23 日（日）	102 人
雑誌リサイクル市	3 月 1 日（土）、2 日（日）	140 人

【特別企画行事】

行 事 名	開催日・回数	参加者数
マネー講座「資産運用初級編」	7月14日（日）	45人
調べ学習ワークショップ	7月20日（土）、21日（日） 8月3日（土）、4日（日）	34人
ゆうべのこわ〜いおはなし会	8月25日（日）	60人
開館30周年記念講演会	9月16日（月・祝）	130人
認知症月間特別映画会	9月23日（月・祝）	83人
認知症月間回想サロン	9月29日（日）	19人
ナクソス音楽会 特別回	10月2日（火）	34人
日本工業大学特別講演会	10月14日（月・祝）	30人
バリアフリー映画会	10月23日（水）	33人
持ち寄りレコード鑑賞会	11月3日（日）	24人
電子図書館体験会	11月23日（土）	4人
開館30周年記念初めての読書会	11月24日（日）	15人
開館30周年記念ニコニコ大会	11月30日（土）	34人
昭和の名人芸を聴く会	1月13日（月・祝）	15人
東武動物公園講演会（獣医師）	1月26日（日）	92人
おとなも楽しめる絵本の集い	2月11日（火）	13人
生きる力を育てるために	2月21日（金）、3月7日（金）	18人
デジタル郷土史講座	2月24日（月・祝）	23人
みやしろ子ども司書講座	3月1日（土）、8日（土） 15日（土）、22日（土）	6人
耳で聴いてギリシア神話	3月23日（日）	30人

【成 果】

指定管理者の持つ専門性やノウハウの活用、町民ボランティア等の協力による図書館サービスの提供を行いました。中でも開館30周年を記念した講演会「万葉集 東歌に魅せられて」では、130人という多くの方に参加いただくことができました。また、日本工業大学や社会福祉協議会、保健センターとの学民官連携による共催企画「認知症合同展」など、他分野との連携事業を展開し、地域力を生かした図書館の魅力アップにも寄与する取組を実施しました。

6年度予算 (円)	6年度決算 (円)	6年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
833,000	639,128	0	0	0	378,220	260,908

[主な実施内容]**■文化財保護委員会の運営**

121,378 円

文化財の指定等を審議するため文化財保護委員会を開催し、町指定文化財候補の調査、審議等を実施しました。また、寺院調査として遍照院（本堂）及び宝生院（本堂及び釈迦堂）の調査を行いました。

■調査

東部地区文化財担当者会による東部地区の信仰（神社）に関する調査を令和5年度に引き続いて実施しました。

■歴史講座の実施

10,000 円

3月16日に「発掘された地蔵院遺跡」（講師：青木秀雄氏）を開催しました。郷土資料館の足もとに広がる「地蔵院遺跡」は、旧石器から縄文、古墳、中・近世と、人々の生活の痕跡を色濃く残す遺跡です。遺跡の範囲内では、過去に幾度も発掘調査が行われてきましたが、この調査の多くにおいて指揮を執った青木氏により、地蔵院遺跡での調査成果や当時の思い出などを語っていただきました。参加者は35名でした。

■文化財案内板等の設置

299,970 円

宮代まちづくり基金を活用し、字西原の地蔵院遺跡内に「地蔵院遺跡」について、その内容や出土品等を記した案内板を設置しました。

■指定文化財保存事業への補助

17,000 円

指定文化財の保護・保存を目的に、埼玉県指定有形文化財五社神社本殿の管理者に防災設備保守点検費用及び緊急修繕に対する補助を行いました。

[成 果]

文化財案内板は、合計45基となり、これまで設置したものと合わせ、より多くの方に地域の歴史、由来を周知できるようになりました。歴史講座では、実際に発掘調査を何度も指揮した青木氏により、郷土資料館の足もとにある遺跡「地蔵院遺跡」について興味深いお話を拝聴することができ、郷土宮代に対する理解や愛着を深めていただきことが出来ました。

6年度予算 (円)	6年度決算 (円)	6年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
18,669,000	18,085,175	1,234,000	617,000	0	0	16,234,175

[主な実施内容]**■開発行為等に係る埋蔵文化財の照会**

開発行為に係る事前の埋蔵文化財所在有無の確認として合計307件の照会がありました。

■文化財保護法の規定による発掘届の提出

文化財保護法第93条・94条の規定に係る発掘届が8件提出され、届出に対する指示を行いました。発掘届の内容及び指示事項については、以下のとおりです。

(1) 発掘届の原因

項目	件数
個人住宅	4
集合住宅	0
その他工事	4

(2) 指示事項

項目	件数
工事立会	3
慎重工事	5
本調査	0

■埋蔵文化財の所在の有無を確認する試掘調査

土地合計約79㎡の試掘調査を実施しました。

調査の原因

項目	件数
個人住宅	3
倉庫	1
新校舎建設	1

■埋蔵文化財の遺物整理

これまでの発掘調査で出土した平成29年度・令和3年度道仏遺跡遺物について、整理作業を行いました。

また、平成元年度に調査を行った地蔵院遺跡について、発掘報告書第26集「地蔵院遺跡(第2次)」を刊行しました。

[成 果]

宮代町文化財調査報告書第26集として「地蔵院遺跡(第二次)」を刊行することができました。また、平成29年度及び令和3年度に行った道仏遺跡発掘調査の出土遺物の整理作業を進めることができました。

6 年度予算 (円)	6 年度決算 (円)	6 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
15,095,000	14,868,256	0	0	0	130,323	14,737,933

[主な実施内容]

■郷土資料館の利用状況

開館日数：282日

6 年度 A	増減 A-B	5 年度 B	4 年度
11,313 人	1,391	9,922 人	8,503 人

■施設の主な修繕工事等

内容	金額 (円)
屋外掲示板修繕	132,000 円
浄化槽制御盤送風機交換工事	85,800 円
旧進修館瓦修繕	63,800 円

■資料寄贈等

町民をはじめとした方々から、民具や古文書等 10 件の寄贈等がありました。

文化財、市町村史等の図書について、新規に約 320 冊が市町村等からの交換文献として寄贈されました。

■展示 町の歴史、文化の紹介

355,156 円

区分	内容	期間	入館者数
特別展	みやしろの仏たち	令和 6 年 10 月～12 月	2,337 人
企画展	土器で見る一万年 宮代の縄文	令和 6 年 3 月～7 月	2,864 人 (4～7 月分)
	～生誕 140 年記念～ 宮代の偉人 島村盛助	令和 6 年 7 月～10 月	3,862 人
	おひなさま	令和 7 年 1 月～3 月	1,878 人
	発掘された地蔵院遺跡	令和 7 年 3 月～	372 人 (3 月分)

■各種講座・体験学習教室

56,425 円

事業名	内 容	参加者数
縄文土器づくり	7月15日・8月17日 対象：小中学生 内容：土器用の粘土を使用して、縄文人と同じように土器を作りました。	16 人
夏休みとっておき体験 「郷土資料館へ行こう」	7月24日～8月8日（計8回） 対象：小中学生 内容：縄文ペンダントづくり、まが玉づくり、組みひもブレスレットづくり、和とじノートづくり、縄文たくほんづくり、しぼり染め	延べ 113 人
かやぶき民家で 聞く昔話	8月3日（土） 内容：旧加藤家住宅座敷において、宮代おはなしの会スウスのみなさんの協力により、昔話や島村蓼三（盛助）の作品「村の寶（たから）」を聞く会を開催しました。	20 人
移築民家と「アタラシイ」ゲキ19	9月16日（月） 内容：平成16年度を初回に、これまで18回実施しました。今年度は、町指定文化財・旧加藤家住宅の板の間を舞台に土間を客席として、和戸教会の歴史に取材した能「平文」を上演しました。	25 人
西原自然の森 フェスタ 2024	11月16日（土） ■加藤家音楽会 内容：旧加藤家住宅を舞台に、ハーモニカクラブ・三味線ユニット「天龍姫」の2グループによる演奏会を開催しました。	100 人
	■縄文マグネットづくり 内容：旧齋藤家住宅母屋の土間などを会場に、縄文土器に付されている文様を参照したマグネット作りを行いました。	32 人
	■町指定文化財 旧進修館特別公開 内容：日ごろは大型民具の保管庫として活用している旧進修館は、明治44年に百間小学校に建てられた1教室だけの校舎で、郷土資料館に移築保管されているものです。午前と午後それぞれ1時間、特別に内部を公開しました。	延べ 20 人
御朱印帳づくり	11月24日・12月5日 内容：蛇腹式とも呼ばれる折本の御朱印帳を作りました。 対象：一般	延べ 18 人

■資料整理

272,895 円

1. 町内から寄贈された古文書、民俗資料や歴史資料等の整理を実施しました。
2. 図書、古文書目録のデータ化、民具資料の整理、新聞資料の整理及び目録化等を実施しました。

■普及、啓発

学校や地域との連携により、受け入れを実施しました。

1. 社会科や総合的な学習について、町内の小学校を10回受け入れしました。
2. 21件の団体利用を受け入れました。
3. 職員派遣申請3件に対し、職員を派遣しました。
4. 中学校2校からの職場体験申請に対し、延べ8人を受け入れました。
5. 資料の館内利用8件を受け入れました。

【成 果】

本年度の特別展は「みやしろの仏たち」と題して、主に江戸時代から昭和初期頃までの、町域にある仏教美術について紹介しました。町指定文化財の地蔵院阿弥陀如来坐像や円空仏などのほか、安養庵「金剛界曼荼羅・胎蔵界曼荼羅」や五社神社箱付き和鏡（町指定）などの、普段は見る機会の少ない資料を展示しました。特別展の会場では約35件の文化財について紹介することができました。

企画展は、7月から10月にかけて、「～生誕140年記念～宮代の偉人島村盛助」と題し、英文学者島村盛助について、その生涯を改めて紹介するとともに、新出の資料も展示しました。令和7年3月からの展示では「発掘された地蔵院遺跡」と題し、資料館の足もとでもある地蔵院遺跡について発掘成果や報告書の内容に触れながら、「器・住・祈」の3つのテーマに焦点を当て、地蔵院遺跡で暮らした人々の姿を紹介する展示となりました。

西原自然の森活用事業としては、他課との共催事業として11月に「西原自然の森フェスタ2024」を行い、町指定文化財の旧加藤家住宅を舞台に「加藤家音楽会」を、旧齋藤家住宅土間を中心に「縄文マグネットづくり」を開催しました。本館前の広場では「かやぶきバザール」を開催し、加藤家音楽会と合わせて来場者に楽しんでもいただきました。さらに、町指定文化財旧進修館の内部について、午前・午後のそれぞれ1時間ずつ、あわせて2回の特別公開を行い、保存されている大型民具とともに明治時代の教室の雰囲気を味わっていただきました。これらの会場には多くの方にご来場いただき、味わい深い古民家の雰囲気とともに、西原自然の森全体を楽しんでいただくことが出来ました。

6 年度予算 (円)	6 年度決算 (円)	6 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
65,530,000	65,529,200	0	0	1,900,000	2,762,590	60,866,610

※令和5年度からの繰越分を含みます。

[主な実施内容]

指定管理者制度を活用し、総合運動公園の管理運営を行いました。

■総合運動公園の利用状況

開館日数：315日

		6 年度 A	増減 A-B	5 年度 B	4 年度
テニスコート	利用件数	2,835	△100	2,935	3,362
	利用人数	21,362	212	21,150	23,809
多目的広場	利用件数	158	38	120	119
	利用人数	8,629	2,209	6,420	7,230
野球場	利用件数	249	31	218	239
	利用人数	13,126	△218	13,344	16,599
ソフトボール場	利用件数	179	13	166	179
	利用人数	5,041	△20	5,061	4,946
メインアリーナ	利用件数	1,380	140	1,240	1,434
	利用人数	31,397	5,134	26,263	28,292
サブアリーナ	利用件数	1,200	32	1,168	1,165
	利用人数	14,294	△796	15,090	14,566
剣道場	利用件数	589	41	548	538
	利用人数	11,210	△852	12,062	11,255
柔道場	利用件数	404	△1	405	466
	利用人数	5,627	297	5,330	6,254
弓道場	利用件数	1,187	△73	1,260	1,009
	利用人数	4,609	△3	4,612	4,003
会議室	利用件数	481	39	442	413
	利用人数	6,573	1,983	4,590	5,182
研修室	利用件数	391	40	351	357
	利用人数	8,065	2,346	5,719	5,729
トレーニング室	利用件数	12,800	722	12,078	10,624
	利用人数	12,800	722	12,078	10,624
室内プール	利用件数	33,533	1,242	32,291	29,231
	利用人数	61,891	△470	62,361	59,384
合計	利用件数	55,386	2,164	53,222	49,136

	利用人数	204,624	10,544	194,080	197,873
--	------	---------	--------	---------	---------

■教室等の自主事業実施状況

教 室 名	6 年度 A	増減 A-B	5 年度 B	4 年度
水 泳	28,946	△1,645	30,591	30,767
テ ニ ス	4,050	△8	4,058	4,119
体 育	1,654	75	1,579	1,848
新 体 操	522	△155	677	827
フ ッ ト サ ル	1,269	221	1,048	1,124
バ ス ケ ッ ト ボ ー ル	1,879	351	1,528	1,176
バ ド ミ ニ ョ ン	605	23	582	486
健 康 教 室	4,455	245	4,210	3,582
ヨ ガ	2,268	372	1,896	1,721
卓 球	1,182	△80	1,262	1,428
ビクトリークリニック	38	6	32	79
ピ ラ テ ィ ス	113	67	46	0
ズ ン バ	320	254	66	0
そ の 他 大 会 ・ 教 室	1,439	598	841	329
合 計	48,740	324	48,416	47,486

■施設の主な工事等

内 容	金額（円）
消火ポンプ更新工事 ※令和5年度からの繰越事業	2,607,000

[成 果]

指定管理者の持つ専門性やノウハウを活かした各種スポーツ教室や健康教室など幅広い世代に対する事業を展開し、20万人以上の方に施設を利用していただきました。

社会体育施設維持管理事業

〔生涯学習室〕

決算書 P190

6 年度予算 (円)	6 年度決算 (円)	6 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
4,494,000	4,128,725	0	0	0	240,000	3,888,725

※令和 6 年度予算のうち、275,000 円を令和 7 年度に繰り越しています。

〔主な実施内容〕

■町内グラウンド・テニスコートの利用状況

開所日数：360日

		6 年度 A	増減 A-B	5 年度 B	4 年度
前原グラウンド	利用件数	512	123	389	404
	利用人数	9,325	1,821	7,504	9,746
東 条 原 グ ラ ウ ン ド	利用件数	343	31	312	269
	利用人数	5,123	460	4,663	4,558
東 グ ラ ウ ン ド	利用件数	200	67	133	161
	利用人数	2,276	257	2,019	2,163
宮東グラウンド	利用件数	597	160	437	468
	利用人数	12,443	△24	12,467	12,651
宮 東 テ ニ ス コ ー ト	利用件数	1,858	208	1,650	1,689
	利用人数	14,471	1,640	12,831	14,720
山 崎 アーチェリー場	利用件数	3,034	781	2,253	2,095
	利用人数	3,034	781	2,253	2,095
合 計	利用件数	6,544	1,370	5,174	5,086
	利用人数	46,672	4,935	41,737	45,933

■施設の主な工事等

内 容	金額 (円)
山崎アーチェリー場門扉設置工事	154,000

〔成 果〕

町民の身近なスポーツ・レクリエーション施設として、個人・スポーツ団体には、ソフトボールやテニスをはじめ、さまざまなスポーツの活動場所に利用され、町民の健康増進・体力向上が図られました。各グラウンド・テニスコートにおいてはインターネットによる公共施設予約システムによる予約が可能となったことにより、利用者の利便性が向上しました。

生涯スポーツ振興事業

〔生涯学習室〕

決算書 P190

6年度予算 (円)	6度決算 (円)	6度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
1,625,000	1,247,303	0	0	0	11,300	1,236,003

[主な実施内容]

■町民スポーツフェスティバル2024

775,504円

町内のスポーツ団体を中心に、全23のブースにより野球やバレーボール、スラックラインなど様々なスポーツ・レクリエーション体験ができるフェスティバルを開催しました。延べ3,437人の来場者が訪れ、町民の健康増進・体力向上が図られました。

■町民スポーツ大会

322,395円

宮代町スポーツ協会へ委託し、町民の健康づくりと競技力の向上のため、5種目のスポーツ大会を実施しました。

事業名	実施時期	会場	参加チーム数等
野球の部	7～8月	総合運動公園野球場	12チーム
硬式テニスの部	9月	総合運動公園テニスコート	20ペア
ソフトボールの部	9, 11月	総合運動公園ソフトボール場	10チーム
サッカーの部	11月	総合運動公園多目的広場	中止
剣道の部	6月	総合体育館メインアリーナ	81名
卓球の部	11月	総合体育館メインアリーナ	23チーム

■少年少女スポーツ振興事業

100,000円

幼児から小学生までを対象に、スポーツに親しむ機会及びスポーツを始める機会を提供し、また、スポーツを通じた交流を促進するための事業を実施しました。

事業名	実施時期	会場	参加者数
少年少女スポーツフェスティバル	6月16日(日)	総合体育館 メインアリーナほか	494人
ロードレース大会	2月8日(土)	総合運動公園	261人

■その他の事業

事業名	会場	目的・内容	参加者数
第50回年少者スキー教室 2月1日(土)～2日(日)	よませ温泉 スキー場	小学校5・6年生を対象に、集団生活における協調性の養成とスキーの初歩的技術の習得を図ります。	計88名 (5年生44名) (6年生44名)
大人のスポーツフィールド 4～3月	総合体育館	埼葛地区発祥のニュースポーツ「さいかつぼーる」を中心としたニュースポーツの体験を通して、日頃の運動不足を	計41名 (全7回)

		解消し、スポーツに親しむ機会を提供します。	
あ そ び と 運 動	総 合 体 育 館 山崎アーチェリー場	小学生を対象として、からだを動かす楽しさを知るとともに、様々なスポーツ種目を体験することで、スポーツの楽しさと基本を知ることが目的としています。	計 53 名 (全 4 回)

[成 果]

スポーツ推進委員の企画・運営による小学生を対象としたあそびと運動教室から大人向けのスポーツ体験まで幅広い世代を対象とした教室の開催とともに、町内の団体と協力しながら町民のスポーツ振興を図る事業を展開しました。また、3回目の開催となった町民スポーツフェスティバルにおいては、新たな団体の参加により体験種目が拡大され、町民が様々なスポーツに接する機会を提供することができました。

学校給食運営管理事業

〔教育総務担当〕

決算書 P192

6 年度予算 (円)	6 年度決算 (円)	6 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
350,754,000	350,309,642	0	0	0	116,909,311	233,400,331

[主な実施内容]

安全でおいしい給食を実施するために、献立等について話し合う宮代町学校給食研究委員会を6回、給食に使う物資について検討する物資検討会を11回開催しました。また、給食の計画や実施内容など、給食に関して客観的な立場から審議する宮代町学校給食運営審議会を1回開催しました。さらに、特定の食材についてアレルギーを持っている児童生徒に対し、その食材を使用しない「除去食」や「代替食」の提供によるアレルギー対策を実施しました。

■学校給食における宮代産農作物の使用状況

年 度	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
品 目 数	31 品 目	35 品 目	35 品 目
使 用 量 (米・野菜等)	米 約 27.0 トン 野 菜 等 約 8.7 トン	米 約 24.5 トン 野 菜 等 約 12.2 トン	米 約 23.8 トン 野 菜 等 約 12.6 トン

[成 果]

食育の推進として、児童生徒の健康面や発育に十分配慮するとともに、世界の料理や全国の郷土料理、季節の行事食、我が家の自慢料理などのメニューの工夫により、楽しく食べながら、社会性や豊かな人間性の育成につながるよう取り組みました。